

(参考様式1-1)

農山漁村発イノベーション整備事業(定住促進・交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
なすまち 那須町	令和5年～令和7年

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
那須町観光商工課	0287-72-6918	0287-72-1112	kanko@town.nasu.lg.jp

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること。
- ・共同で作成する場合は、全ての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	道の駅那須高原友愛の森は、グリーン・ツーリズム等を通じた地域活性化のハブ(都市住民との交流、地域食材の供給、地域への周遊促進、地場産品の開発・PR)としての機能を有した施設である。再整備を行うことで那須地区の受入体制を強化し、農業と観光による地域活性化を図ることを目的としているため、当該施設での交流人口や地域産物の販売額の観点から目標を設定する。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
	交流人口の増加	161,500 人
第1評価指標の設定根拠		
<p>平成29年に策定された、道の駅「那須高原友愛の森」再整備基本計画書では、リニューアル後の入り込み客数を1.5倍としている。そこで、令和元年度、令和2年度、令和3年度の当該施設の入り込み客数の平均値を1.5倍し、その数値から平均値を引いた人数を目標値として設定する。</p> <p>【直売所・物産センターの入り込み客数】 令和元年度入り込み客数:349,690人、令和2年度入り込み客数:248,924人、令和3年度入り込み客数:263,444人 3年平均:287,352人≒287,000人</p> <p>【レストランの入り込み客数】 令和元年度入り込み客数:45,727人、令和2年度入り込み客数:27,539人、令和3年度入り込み客数:34,522人 3年平均:35,929人≒36,000人</p> <p>平均入り込み客数:287,000人+36,000人 = 323,000人 × 1.5 = 484,500人</p> <p>【直売所・物産センターの入り込み客数】 令和7年度入り込み客数:416,150人、令和8年度入り込み客数:430,500人、令和9年度入り込み客数:444,850人 3年平均:430,500人</p> <p>【レストランの入り込み客数】 令和7年度入り込み客数:52,200人、令和8年度入り込み客数:54,000人、令和9年度入り込み客数:55,800人 3年平均:54,000人</p> <p>平均入り込み客数:430,500人+54,000人 = 484,500人 事業実施後平均:484,500人 - 事業実施前平均:323,000人 = 161,500人【目標値】</p>		

第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物の販売額の増加	185,995,000円	計画区域における地域産物の販売額の増加額(千円)【185,995】=(計画後の販売額(千円)【557,985】-計画前の販売額(千円)【371,990】)
第2評価指標の設定根拠		
平成29年に策定された、道の駅「那須高原友愛の森」再整備基本計画書では、リニューアル後の入り込み客数を1.5倍としている。そこで、令和元年度、令和2年度、令和3年度の当該道の駅において、地域産物を販売している施設の販売額の平均値を1.5倍し、その数値から平均値を引いた販売額を目標値として設定する。		
【直売所・物産センターの販売額】 令和元年度販売額:361,571,798円、令和2年度:294,593,317円、令和3年度:306,565,896円 平均販売額:320,910,337円 ≒ 320,910千円		
【なすとらんの販売額】 令和元年度販売額:63,341,500円、令和2年度:40,190,550円、令和3年度:49,711,100円 平均販売額:51,081,050円 ≒ 51,081千円		
平均販売額 320,910千円 + 51,081千円 = 371,991千円 × 1.5 = 557,986.5千円		
【直売所・物産センターの販売額】 令和7年度販売額:465,319.5千円、令和8年度:481,365千円、令和9年度:497,410.5千円 平均販売額:481,365千円		
【なすとらんの販売額】 令和7年度販売額:74,067.45円、令和8年度:76,621.5円、令和9年度:79,175.55円 平均販売額:76,621.5千円		
平均販売額 481,365千円 + 76,621.5千円 = 557,986.5千円		
事業実施後平均:557,986.5千円 - 事業実施前平均:371,991千円 = 185,995.5千円【目標値】		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
収穫祭等のイベント実施	5回	6回【目標値】-1回【現状値】=5回
第3評価指標の設定根拠		
収穫祭や地元工芸作家による作品の展示販売会等の各施設が連携したイベントの回数を増やすことで、地域への周遊を促進するとともに、地域産物の販売額と交流人口の増加を加速させる。		
【イベント回数】 令和元年度3回、令和2年度0回、令和3年度0回 平均:1回【現状値】 令和7年度6回、令和8年度6回、令和9年度6回 平均:6回【目標値】 6回【目標値】-1回【現状値】=5回増加		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和7年度～令和9年度	令和10年	

IV 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域連携販売力 強化施設	那須地区	農産物直売所	1棟 (682㎡)	令和5年度	那須町	350,019	98,890	1/2	98,890	道の駅那須高原友愛の森は、グリーン・ツーリズム等を通じた地域活性化のハブ(都市住民との交流、地域食材の供給、地域への周遊促進、地場産品の開発・PR)としての機能を有した施設である。農産物直売所の再整備を行うことで、都市住民との交流、地域食材の供給及び地場産品の開発・PR機能が強化されることから、交流人口と地域産物の販売額増加を目標として設定している。また、地域への周遊促進への仕掛けの一つとしてイベント開催回数を目標	
地域連携販売力 強化施設	那須地区	食材提供施設	1棟 (536㎡)	令和6年度	那須町	332,970	77,720	1/2	77,720	道の駅那須高原友愛の森は、グリーン・ツーリズム等を通じた地域活性化のハブ(都市住民との交流、地域食材の供給、地域への周遊促進、地場産品の開発・PR)としての機能を有した施設である。農村レストランの再整備を行うことで、都市住民との交流、地域食材の供給及び地場産品の開発・PR機能が強化されることから、交流人口と地域産物の販売額増加を目標として設定している。また、地域への周遊促進への仕掛けの一つとしてイベント開催回数を目標	
合 計						682,989	176,610		176,610		

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
 - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
 - ・事業メニュー名欄には、実施要領別記3の別表2の事業メニュー名を記入すること。
 - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
 - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
 - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
 - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。なお、別表2の(3)の③自然・資源活用施設の単独整備を実施する場合は記載不要。
 - ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

V 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
国土強靱化施策	地域連携販売力強化施設	那須地区	交流人口の増加に対応できるよう、駐車場、町道の整備を行う。また、新たに整備する駐車場は防災ヤードとして、災害時の一時避難場所や地域防災拠点等として活用する。
福祉、教育、観光等と連携した地域活性化に向けた取組	地域連携販売力強化施設	那須地区	交付金を活用して整備する地域連携販売力強化施設は、重点道の駅になっている那須高原友愛の森の施設となる。
地域別農業振興計画	地域連携販売力強化施設	那須地区	「地域別農業振興計画」における将来ビジョンにおいて、本計画が位置付けられている。

【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

VI 農山漁村発イノベーション整備事業(定住促進・交流対策型)事業実施計画

事業別内容	計画の提出年度	新規・変更の区別 新規「1」 変更「2」	都道府県		市町村名	地区名	地域指定状況								計画期間 最終年度	他の施策との連携												
			名称	名称			山村 振興	過疎 地域	特定 農山村	半島 振興	離島 振興	豪雪 地帯	急傾 斜地	奄美 群島		指定 棚田 地域	離島振興 計画	輸出促進 条件整備	耕作放棄 地の解消 に向けた取 組	地域再生 計画	まち・ひと・しごと 創生(高)活用 事業	定住自立 圏共生と シユン	国土強靱化 施策	福祉、教育、観光 等と連携した地域 活性化に向けた 取組	女性の能力の 積極的な活用 に向けた取組	地域別農業 振興計画	次世代農業 農村振興計 画	指定棚田地 域振興活動 計画
																	連携施策 は「1」を 記載	連携施策 は「1」を 記載	連携施策 は「1」を 記載	連携施策 は「1」を 記載	連携施策 は「1」を 記載	連携施策は 「1」を 記載	該当する連携 施策の番号「 1～8」を全て 記載	連携施策は 「1」を記載	連携施策は 「1」を記載	連携施策は 「1」を記載	連携施策は 「1」を記載	連携施策は 「1」を記載
事業別内容	R5年度	1	栃木県	那須町	那須町	那須地区													1	5		1						
	R5年度	1	栃木県	那須町	那須町	那須地区													1	5		1						
①事業費計																												
②市町村等附帯事務費																												
③県附帯事務費																												
総合計(①+②+③)																												
共同で計画作成を行う場合の内訳	〇〇町	事業費(ハード)																										
		市町村等附帯事務費																										
	××県	事業費(ハード)																										
		都道府県等附帯事務費 市町村等附帯事務費																										

【記入要領】

・実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、計画の提出年度欄には、発電施設等を附帯する活性化施設の整備を実施する際に作成した活性化計画の提出年度を記載すること。

